



## リリース ノート

**PowerBuilder® 12.5.1**

**Document ID:** DC33822-01-1251-01

**Last revised:** February 23, 2012

## 内容

- [製品概要](#)
- [このバージョンで変更された機能](#)
- [既知の問題](#)
- [製品互換](#)
- [サードパーティ コンポーネントと配布](#)
- [マニュアルの変更点](#)
- [移行について](#)
- [ヘルプおよびその他の情報の入手](#)

[商標および著作権情報](#)

## リリースノート

Copyright © 2012 by Sybase, Inc. All rights reserved.

本書は Sybase ソフトウェアの付属マニュアルであり、新しいマニュアルまたはテクニカル ノートで特に示されない限り、後続のリリースにも付属します。このマニュアルの内容は、予告なく変更されることがありますが、Sybase, Inc. およびその関連会社では内容の変更に関して一切の責任を負いません。このマニュアルに記載されているソフトウェアはライセンス契約に基づいて提供されるのものであり、無断で使用することはできません。

予定したソフトウェアのリリース日にのみアップグレードを提供します。本書に記載されている内容は、Sybase, Inc. およびその関連会社の書面による事前許可を得ずに、電子的、機械的、手作業、光学的、またはその他のいかなる手段によっても複製、転送、翻訳することを禁じます。

Sybase の商標は Sybase の商標ページのサイト <http://www.sybase.com/detail?id=1011207> に記載されています。記載の Sybase およびマークは Sybase, Inc の商標です。® はアメリカ合衆国における登録商標を示します。

SAP および本書で記載されている SAP の他の製品とサービス、さらにそれらに対応するロゴは、ドイツおよび世界各国における SAP AG の商標または登録商標です。

Java およびすべての Java ベースのマークは、米国および他国における Oracle またはその関連会社（あるいはその両方）の商標または登録商標です。

Unicode および Unicode のロゴは Unicode, Inc. の登録商標です。

本書で記載されている上記以外の社名および製品名は、関連各社の商標または登録商標の場合があります。

本書に記載されている内容は、将来予告なしに変更することがあります。また、本ソフトウェアおよび説明書を使用したことによる損害、または第三者からのいかなる請求についても、サイベース株式会社、その親会社である米国法人 Sybase, Inc. またはその関連会社は、一切の責任を負わないものとします。

## 製品概要

このリリースノートでは、PowerBuilder® 12.5.1 に関する最新情報を提供します。

Sybase® PowerBuilder バージョン 12.5.1 は、以下のオペレーティングシステムをサポートします。

- Microsoft Windows XP Service Pack 3
- Microsoft Windows Vista Business Edition 32 ビットおよび 64 ビット Service Pack 2
- Microsoft Windows 7 Professional 32 ビットおよび 64 ビット Service Pack 1
- Microsoft Windows Server 2008 32 ビットおよび 64 ビット Service Pack 2 (実行時のみ)

---

2012年3月30日作成。このヘルプトピックに関するフィードバックは、日本コンピュータシステム株式会社 第3事業部に送信してください：[powerbuilder-info@ncsx.co.jp](mailto:powerbuilder-info@ncsx.co.jp)

## このバージョンで変更された機能

このリリースは 2 つの新機能を含みます。

PowerBuilder .NET のこれらの新機能の詳細については、日本コンピュータシステム株式会社 Web サイト <http://www.powerbuilder.jp/> の『PowerBuilder 12.5.1 の新機能』を参照してください。また、英語版のマニュアルは、Sybase 製品マニュアル Web サイト <http://www.sybase.com/support/manuals/> (英語) で見ることができます。

### 64 ビット WPF アプリケーションの配布

WPF プロジェクトの新しいプラットフォーム オプションを通じて、32 ビットおよび 64 ビットのシステムに配布する PowerBuilder アプリケーションを作成できます。デフォルト値は [32-bit] です。

ビルド オプション [プラットフォーム ターゲット] を [32-bit] または [32-bit or 64-bit] に設定できます。後者のオプションを使用すると、32 ビット プラットフォームで 32 ビット アプリケーション、64 ビット プラットフォームで 64 ビット アプリケーションとして動作します。

WCF サービス、PB アセンブリ、.NET アセンブリというその他のターゲットはいずれも呼び出される側であり、アプリケーションの種類によって実行モードが決まります。ユーザがプラットフォームを選択することはできません。「AnyCPU」モードで構築が実行されます。

### 動的にロードされるアセンブリ

PowerBuilder .NET の以下の新しい 3 つのシステム関数を使用して、複数の PB アセンブリの中で定義されているウィンドウ、ビジュアルオブジェクト、メニュー、その他のいくつかのオブジェクトを実行時に動的に変更できます。それは、**AddAssemblyReference**、**SetAssemblyReference**、および **GetAssemblyReference** です。

これらのシステム関数を使用すると、PowerBuilder .NET で配布した PowerBuilder アセンブリに対して参照を実行時に追加できます。参照を追加した後、その参照の中で定義されているすべての型を実行時に使用できます。変数、戻り値、またはパラメータを定義するために、参照されたアセンブリの中にある型を直接使用することはできません。型は通常、いくつかのシステム関数の中で String 型のパラメータとして使用され、値は、開発者が作成しようとするデータ型に設定します。

---

2012 年 3 月 30 日作成。このヘルプトピックに関するフィードバックは、日本コンピュータシステム株式会社 第3事業部に送信してください：[powerbuilder-info@ncsx.co.jp](mailto:powerbuilder-info@ncsx.co.jp)

## 既知の問題

既知の問題と回避策についてお知らせします。

注意: 解決済み事例は、Sybase Web サイトで検索できます。[Support]、[Solved Cases] の順に選択するか、<http://search.sybase.com/search/simple.do?mode=sc> にアクセスしてください。アーカイブ内の解決済み事例を参照するには、MySybase アカウントが必要です。

### データベースに関する既知の問題

PowerBuilder 内でのデータベースに関する既知の問題についてお知らせします。

### WPF ウィンドウとメニュー ペインタに関する既知の問題

PowerBuilder .NET の WPF ウィンドウとメニュー ペインタに関する既知の問題と回避策をお知らせします。

### WPF データウィンドウに関する既知の問題

PowerBuilder .NET の WPF データウィンドウに関する既知の問題と回避策をお知らせします。

### WPF コントロールに関する既知の問題

PowerBuilder .NET の WPF コントロールに関する既知の問題と回避策をお知らせします。

### サードパーティ コントロールおよびカスタム コントロールに関する既知の問題

PowerBuilder .NET のサードパーティ コントロールおよびカスタム コントロールに関する既知の問題と回避策をお知らせします。

### WPF 継承に関する既知の問題

PowerBuilder .NET の継承に関する既知の問題と回避策をお知らせします。

### .NET 言語機能拡張に関する既知の問題

PowerBuilder の .NET 言語機能拡張に関する既知の問題と回避策をお知らせします。

### WPF ランタイムに関する既知の問題

実行時の PowerBuilder .NET WPF アプリケーションに関する既知の問題と回避策をお知らせします。

### WPF デバッグに関する既知の問題

WPF デバッグに関する既知の問題と回避策をお知らせします。

### WCF クライアント プロキシに関する既知の問題

PowerBuilder .NET の WCF クライアント プロキシに関する既知の問題と回避策をお知らせします。

### WCF サービスに関する既知の問題

PowerBuilder .NET の WCF サービスに関する既知の問題と回避策をお知らせします。

### FlowDirection プロパティに関する既知の問題

PowerBuilder .NET の FlowDirection プロパティに関する既知の問題と回避策をお知らせします。

### 移行に関する既知の問題

PowerBuilder .NET への移行に関する既知の問題と回避策をお知らせします。

### インストールに関する既知の問題

PowerBuilder セットアップ プログラムに関する既知の問題と回避策をお知らせします。

### Web フォーム アプリケーションに関する既知の問題

Web フォーム アプリケーションに関する既知の問題と回避策をお知らせします。

### 分割アセンブリに関する既知の問題

PowerBuilder .NET の分割アセンブリに関する既知の問題と回避策をお知らせします。

### その他の項目に関する既知の問題

PowerBuilder のその他の項目に関する既知の問題と回避策をお知らせします。

---

2012年3月30日作成。このヘルプトピックに関するフィードバックは、日本コンピュータシステム株式会社 第3事業部に送信してください：[powerbuilder-info@ncsx.co.jp](mailto:powerbuilder-info@ncsx.co.jp)

## データベースに関する既知の問題

PowerBuilder 内でのデータベースに関する既知の問題についてお知らせします。

### データベースに関する問題

CR#	説明
634719	<b>64 ビット Windows 上の Informix への PowerBuilder の接続</b> Windows 2008 R2 64 ビット システムを除き、PowerBuilder 内での Informix データベースの接続は Windows 64 ビット システムをサポートしていません。Informix Client SDK のシステム要件に関する Web ページ <a href="https://www-304.ibm.com/support/docview.wss?uid=swg27016673">https://www-304.ibm.com/support/docview.wss?uid=swg27016673</a> を参照してください。Windows 2008 R2 64 ビット システムで Informix ADO.NET 接続を使用するには、Informix から 32 ビットと 64 ビット両方のデータベース ドライバをインストールする必要があります。
626396	<b>ADO.NET インタフェース経由での PowerBuilder WebForms から ASE 15.5 への接続</b> PowerBuilder WebForm アプリケーションは、現行の ASE 15.5 ドライバを使用して ADO.NET インタフェース経由で Adaptive Server Enterprise データベースに接続することはできません。この問題は、PowerBuilder Classic アプリケーションまたは PowerBuilder WinForm アプリケーションでは発生しません。PowerBuilder .NET アプリケーションの場合、ASE 15.5 ESD #7 以降用の SDK ドライバをインストールする必要があります。

親トピック: [既知の問題](#)

---

2012 年 3 月 30 日作成。このヘルプトピックに関するフィードバックは、日本コンピュータシステム株式会社 第3事業部に送信してください: [powerbuilder-info@ncsx.co.jp](mailto:powerbuilder-info@ncsx.co.jp)

## WPF ウィンドウとメニュー ペインタに関する既知の問題

PowerBuilder .NET の WPF ウィンドウとメニュー ペインタに関する既知の問題と回避策をお知らせします。

### WPF ウィンドウとメニュー ペインタの問題

CR#	説明
698145	<p>VO と名前空間を含むウィンドウのプレビュー時にエラーが発生する。</p> <p>エラーは次のように表示されます。「xxx.u_xxx は無効なデータ型です。プレビューのコンパイル結果 = 3. プレビューすることができません」</p>
618528	<p>名前に特殊記号が使用されているメニュー項目を削除できない。</p> <p>PowerBuilder .NET では、メニューの名前に「@」、「#」、「\$」などの記号が使用されていると、そのメニューを削除できません。</p>
612182	<p>PowerBuilder .NET でプロパティ ウィンドウの [イベント] タブが正しくサポートされない。</p> <p>このタブに表示されないイベントがあります。また、プロパティ ウィンドウで、あるオブジェクトのイベントを表示し、イベントをダブルクリックするか、一覧表示された各イベントの横のドロップダウン リストの内部をクリックすると、イベント ハンドラが無効であるという内容のエラーメッセージが表示されます。</p>

親トピック: [既知の問題](#)

---

2012 年 3 月 30 日作成。このヘルプトピックに関するフィードバックは、日本コンピュータシステム株式会社 第3事業部に送信してください：[powerbuilder-info@ncsx.co.jp](mailto:powerbuilder-info@ncsx.co.jp)

## WPF データウィンドウに関する既知の問題

PowerBuilder .NET の WPF データウィンドウに関する既知の問題と回避策をお知らせします。

### WPF データウィンドウの問題

CR#	説明
675761	シンボル選択の表示の問題。 実行時に、.NET アセンブリのターゲットの PrintDW 内で、ラジオボタン コントロールまたはチェックボックス コントロールに対してシンボル選択が表示されません。
675595	print.filename が空白の場合、物理プリンタに対する DW.Print が機能しない。 .NET アセンブリ ランタイムで print.filename が空白の場合、DW.Print が物理プリンタへの印刷を実行できません。WPF ランタイム内では機能します。

### WPF リッチテキスト データウィンドウの問題

CR#	説明
621618	リッチテキスト データウィンドウ オブジェクト内の大きなファイルによりパフォーマンスが低下する。 400 KB 以上のファイルを使用するリッチテキスト データウィンドウ オブジェクトを保存または開く場合、パフォーマンスが低下します。
613487	リッチテキスト カラムのテキストが改ページで誤って切り捨てられる。 リッチテキスト カラムが 2 ページにわたる場合、そのテキストは改ページ位置で誤って切り捨てられます。

親トピック: [既知の問題](#)

2012 年 3 月 30 日作成。このヘルプトピックに関するフィードバックは、日本コンピュータシステム株式会社 第3事業部に送信してください：[powerbuilder-info@ncsx.co.jp](mailto:powerbuilder-info@ncsx.co.jp)



## WPF コントロールに関する既知の問題

PowerBuilder .NET の WPF コントロールに関する既知の問題と回避策をお知らせします。

### WPF コントロールの問題

CR#	説明
676279	継承した SVO を CVO .NET アセンブリに追加する場合の構築エラー。 CVUO .NET アセンブリ用に SVUO を作成し、SVUO を継承して CVUO に追加する場合、次のエラーが発生します。「assembly.svuo_cmb_b' の部分宣言には競合するアクセシビリティ修飾子が含まれています。」
675923	CVUO を CVUO に追加すると、実行時に .NET アセンブリ ターゲット内で Constructor イベントが 2 回発生する。 .NET アセンブリ ターゲット内で CVUO を別の CVUO に追加すると、実行時に Constructor イベントが 2 回発生します。
675759	ターゲットを移行した後、スタティック テキスト コントロールの高さと幅が変化する。 スタティック テキスト コントロールを PowerBuilder .NET 12.1 から 12.5 に移行すると、height と width の各プロパティが変化します。
663341	Visual Studio ツールボックスへの CVUO の追加を GAC が妨げる。 CVUO をグローバル アセンブリ キャッシュ (GAC) に追加できますが、その後、その CVUO を Visual Studio ツールボックスに追加することはできません。CVUO が GAC 内にはない場合は、CVUO をツールボックスに追加できます。
572458	タブ ページ項目の追加によりデザイン時にちらつく。 デザイン時にタブ コントロールで [タブを追加] コンテキスト メニュー項目を選択すると、モニタがわずかにちらつくことがあります。
572400	タブページ タブをタブ コントロールの外側に拡張できる。 タブ コントロールに複数のタブ ページを追加すると、PowerBuilder は自動的に矢印ボタンを追加して、隠されているものを含め、ユーザがすべてのタブをクリックできるようにしますが、PowerBuilder .NET では、デザイン時および実行時にタブページが切り捨てられたような外観にして、矢印ボタンがタブページのテキストの一部を隠すことがあります。デザイン時には、タブ ページの枠がメインのタブ コントロールの外側に表示される場合があります。
570542	一部のインスタンスで TextCase プロパティをリセットしなければならない。 プロパティ ビューの TextCase プロパティが Upper! または Lower! に設定されていても、大文字と小文字が混在するテキストをシングルラインエディット コントロールに追加すると、テキストはプロパティで示された大文字と小文字の指定を自動的に使用しません。 回避策: TextCase プロパティで異なる値を選択した後、元の値を再度選択することで、大文字と小文字を変更できます。

親トピック: [既知の問題](#)

2012 年 3 月 30 日作成。このヘルプ トピックに関するフィードバックは、日本コンピュータシステム株式会社 第3事業部に送信してください: [powerbuilder-info@ncsx.co.jp](mailto:powerbuilder-info@ncsx.co.jp)

## サードパーティ コントロールおよびカスタム コントロールに関する既知の問題

PowerBuilder .NET のサードパーティ コントロールおよびカスタム コントロールに関する既知の問題と回避策をお知らせします。

### サードパーティ コントロールの問題

CR#	説明
673839	<p>カラム リストが長くて 1 画面に収まらない場合、更新可能なカラム リストボックスが正常に機能しない。</p> <p>たとえば、リストボックスを含む更新特性の指定ダイアログを開きます。[更新可能なカラム] リストボックスで、「ID」カラムを選択します。すると、このカラムが選択解除され、他の複数のカラムが選択されます。下にスクロールし、その後、元の場所に戻ります。他の項目が選択解除されます。以下同様です。</p>
640523	<p>サードパーティ コントロールが含まれている場合、WPF 公開スマート クライアント アプリケーションが失敗する。</p> <p>WPF アプリケーションがサードパーティ コントロールを含み、必須の参照アセンブリ ファイルが構築サブフォルダ (..\bin\Debug or ..\bin\Release) の中にない場合、そのアプリケーションをスマート クライアント アプリケーションとして公開するときに、公開機能は関連ファイルを公開フォルダ (..\bin\Debug\published または ..\bin\Release\published) にコピーしません。</p> <p>回避策: (同じく構築サブフォルダ内にある) publish.xml の &lt;ReferenceAssemblyFiles&gt; セクションに従って、すべての必須アセンブリ ファイルを構築サブフォルダ (..\bin\Debug または ..\bin\Release) にコピーします。その場合、公開は成功します。</p>
635007	<p>サードパーティ コントロールに関する XAML の考慮事項</p> <p>サードパーティ コントロールを追加する前に、XAML ルート要素の中でサードパーティ名前空間を定義します。名前空間を定義しない場合、正しくない名前空間がインラインで追加され、XAML 名前空間エラーが発生します。</p>
633431	<p>ツールボックスの新しいタブが消えることがある。</p> <p>ツールボックスに新しいタブを追加した後、PowerBuilder .NET がクラッシュすると、新しいタブは保存されません。</p>
626856	<p>異なるバージョンの WPFToolkit.dll を参照するサードパーティ コントロールを使用すると、構築エラーが発生する。</p> <p>PowerBuilder .NET 内の WPF アプリケーションが参照する WPFToolkit.dll (バージョン 3.5.40320.1) は自動的に追加されます。異なるバージョンの WPFToolkit.dll を参照する他のサードパーティ WPF コントロールを使用する場合、構築エラー「The located assembly's manifest definition does not match the assembly reference.」が表示されます。</p>
621554	<p>一部のサードパーティ コントロールはダブルクリックでスクリプト ビューを表示しない。</p> <p>レイアウト ビューで RadCalendar などの一部のサードパーティ コントロールをダブルクリックしてもスクリプト ビューが自動的に開きません。この問題は、Visual Studio でも発生します。</p> <p>回避策: ウィンドウまたは親コントロールのスクリプト ビューを開き、左上のドロップダウン リストからサードパーティ コントロールを選択します。</p>

親トピック: [既知の問題](#)

2012 年 3 月 30 日作成。このヘルプ トピックに関するフィードバックは、日本コンピュータシステム株式会社 第3事業部に送信してください: [powerbuilder-info@ncsx.co.jp](mailto:powerbuilder-info@ncsx.co.jp)

## WPF 継承に関する既知の問題

PowerBuilder .NET の継承に関する既知の問題と回避策をお知らせします。

### WPF 継承の問題

CR#	説明
697229	<p>CVUO の子孫の中で、カスタマイズした <b>Constructor</b> イベントに切り替えることができない。</p> <p>参照される PB アセンブリの中で、カスタムの非ビジュアルクラスからの継承を実行する場合、非ビジュアルクラスは複数のカスタマイズした <b>Constructor</b> イベントを持つことになります。子孫の中で、イベントリストからその <b>Constructor</b> を選択すると、<b>+Constructor(...)</b> イベントに切り替えることはできません。その子孫からの継承を継続する場合、それらのカスタマイズした <b>Constructor</b> イベントは、スクリプトペインタのイベントリストから失われます。</p>
624278	<p>先祖メニュー項目を削除すると、子孫メニューの整合性チェックで失敗することがある。</p> <p>先祖メニューでメニュー項目を削除すると、子孫メニューを開こうとしたときにオブジェクトの完全エラー ダイアログ ボックスが表示されることがあります。また、その後、子孫メニューをメニューペインタで開くと空白になる場合があります。</p> <p>回避策: オブジェクトの完全エラー ダイアログ ボックスで <b>[OK]</b> をクリックしてからファイルを開くアプリケーションの選択ダイアログ ボックスで <b>[PowerScript エディタ]</b> を選択します。エディタでは、ソースコード内の削除されたメニュー項目が赤い下線でハイライト表示されます。下線付きメニュー項目を含むすべての <b>Type ...End Type</b> および <b>On ...End On</b> 句をコメント化または削除すると、メニューペインタで再び子孫メニューを開けます。</p>

親トピック: [既知の問題](#)

---

2012年3月30日作成。このヘルプトピックに関するフィードバックは、日本コンピュータシステム株式会社 第3事業部に送信してください：[powerbuilder-info@ncsx.co.jp](mailto:powerbuilder-info@ncsx.co.jp)

## .NET 言語機能拡張に関する既知の問題

PowerBuilder の .NET 言語機能拡張に関する既知の問題と回避策をお知らせします。

### .NET 言語機能拡張の問題

CR#	説明
649531	<p>PowerBuilder イベントまたは PowerBuilder 関数を PowerBuilder の外部で定義した場合しか、それらを .NET イベントに接続できない。</p> <p>.NET イベントは、PB イベントとは異なっています。 .NET イベントがデリゲート インスタンスであるのに対し、PB イベントは .NET イベントのハンドラとして使用できるメソッドです。 .NET イベントは、PowerBuilder の外部でのみ定義できます。 サードパーティのコントロール内または通常の .NET クラス内にどの .NET イベントが存在しているかを確認するには、.NET 反映ツールまたは関連マニュアルを使用してメタデータを参照する必要があります。</p>
620924	<p>パラメータ化されたコンストラクタの削除で、子オブジェクト内の継承されたコンストラクタが削除されない。</p> <p>子オブジェクトにコードを追加してパラメータ化されたコンストラクタを拡張し、次に親オブジェクトのパラメータ化されたコンストラクタを削除する場合、削除された親コンストラクタを呼び出す非表示のシステム生成スクリプトが子オブジェクトのソース コードに含まれたままになります。この結果、コンパイルが失敗します。</p>

親トピック: [既知の問題](#)

---

2012年3月30日作成。このヘルプトピックに関するフィードバックは、日本コンピュータシステム株式会社 第3事業部に送信してください：[powerbuilder-info@ncsx.co.jp](mailto:powerbuilder-info@ncsx.co.jp)

## WPF ランタイムに関する既知の問題

実行時の PowerBuilder .NET WPF アプリケーションに関する既知の問題と回避策をお知らせします。

### WPF ランタイムの問題

CR#	説明
655873	<p>埋め込まれた、画像以外のファイル リソースをロードしない。</p> <p>ファイルベースのシステム関数を使用して、WPF ターゲット用の PowerBuilder コード内に、画像以外の外部リソースを埋め込むことはできません。</p> <p>たとえば、テキスト ファイルの構築アクションを通常の内容から埋め込みリソースに変更する場合、実行時にそのリソースのロードに失敗します。</p>
655701	<p>サードパーティ コントロール用の外部の内容リソースをロードしない。</p> <p>サードパーティ コントロール用の外部の内容リソース（たとえば、Microsoft WPF 画像コントロール）は、実行時にロードに失敗します。組み込まれたリソースのみが実行時にロードに成功します。</p>
618158	<p>ツールバーをドラッグしても <b>ToolBarMoved</b> イベントが起動されない。</p> <p>PowerBuilder .NET では、SDI ウィンドウを開いたときのみ、このウィンドウに対して <b>ToolBarMoved</b> イベントが起動されます。</p>
590157	<p>日付ピッカー コントロールおよび月表示カレンダー コントロールでのカルチャ設定の問題</p> <p>12 時間制または 24 時間制の表示（h と H）の 1 桁値を有効にするためのマスクが正しく機能しません。PowerBuilder .NET では、これらは hh および HH マスクと同様に機能し、時間値を常に 2 桁で表示します。</p>
585399	<p>アプリケーションとアセンブリを同じ名前にできない。</p> <p>アセンブリとアセンブリを参照する WPF アプリケーションに同じ名前を使用すると、ランタイムエラーが発生します。</p> <p>回避策: WCF クライアント プロキシ プロジェクトでは、生成されたアセンブリに、プロジェクトをホストする WPF アプリケーションの名前を付けないでください。</p>
582510	<p>リストビュー コントロールでの複数アイテム選択</p> <p>ExtendedSelection プロパティを true に設定すると、リストビュー コントロールでの複数項目選択が有効になります。ただし、WPF アプリケーションでは、選択する項目をマウスで投げ輪選択することはできません。</p> <p>回避策: WPF アプリケーションでは、複数項目を選択するために [Shift] を押したままにしなければなりません。</p>

親トピック: [既知の問題](#)

2012 年 3 月 30 日作成。このヘルプ トピックに関するフィードバックは、日本コンピュータシステム株式会社 第3事業部に送信してください: [powerbuilder-info@ncsx.co.jp](mailto:powerbuilder-info@ncsx.co.jp)

## WPF デバッガに関する既知の問題

WPF デバッガに関する既知の問題と回避策をお知らせします。

### WPF デバッガの問題

CR#	説明
676190	<p>デバッガが共有変数に関する値のヒントを表示しない。</p> <p>共有変数に関して、次のような式が評価されます。</p> <pre>PBGlobalDefinitions_pb12wpfdebug.GetInstance().w_main_6__s_ulong_7</pre> <p>これは、ウォッチ ウィンドウにとっては適切です。一方、ツールチップに対する関数呼び出しは受け入れられません。GetInstance を GetProperty に変更してください。</p>
661095	<p>異なるターゲット内にある同じ名前のオブジェクトに対応するブレークポイントが見つからない。</p> <p>異なるターゲットの中にある 2 つのオブジェクトが同じ名前を持ち、どちらかのオブジェクト内にあるブレークポイントに移動しようとする、デバッガは正しいソース コードを開いて正しいブレークポイントに移動することができません。この問題は、ファイル レベルではなくルーチンレベルでソース コードを編集する場合の制限事項です。</p>
637697	<p><b>PowerBuilder .NET</b> デバッガ ウォッチ ビュー内の配列式。</p> <p>PowerBuilder .NET デバッガ ウォッチ ビューでは、配列を含む式を評価できません。</p>
620549	<p>ゼロベースの配列がデバッガで正しく表示されない。</p> <p>デバッガが一部の Web サービスで使用されるゼロベースのオブジェクト配列を正しく表示しません。</p>
620068	<p>[ソース コードへ移動] が 1 つのターゲットに対してのみ機能する。</p> <p>一部のデバッガ ウィンドウで、ブレークポイントを選択し、[ソース コードへ移動] コマンドを使用してブレークポイントでソース コードを開くことができます。このコマンドは、複数の PowerBuilder .NET ターゲットを持つ PowerBuilder .NET ワークスペースのブレークポイントで正しく機能しません。</p>
616269	<p>クイックウォッチ ウィンドウに正しくないチェックボックス コントロール プロパティがある。</p> <p>クイックウォッチ ウィンドウにチェックボックス コントロール プロパティが正しく表示されないことがあります。</p>
614864	<p>デバッガ出力内の不要な一時変数</p> <p>アプリケーション コードには存在しない一時変数 ( __PB_TEMP_DB__OutputVars0 など) がデバッガ ウィンドウに表示されることがあります。</p> <p>回避策: これらの一時変数は無視しても問題ありません。</p>
610237	<p><b>FOR...NEXT</b> 文でカーソルが 2 回停止する。</p> <p>ブレークポイントを <b>FOR...NEXT</b> 文の直前に設定し、連続で Step Into コマンドを発行すると、WPF デバッガのカーソルが <b>FOR</b> 句がある行で 2 回停止します。</p>

親トピック: [既知の問題](#)

2012 年 3 月 30 日作成。このヘルプ トピックに関するフィードバックは、日本コンピュータシステム株式会社 第3事業部に送信してください: [powerbuilder-info@ncsx.co.jp](mailto:powerbuilder-info@ncsx.co.jp)

## WCF クライアント プロキシに関する既知の問題

PowerBuilder .NET の WCF クライアント プロキシに関する既知の問題と回避策をお知らせします。

### WCF クライアント プロキシの問題

CR#	説明
616323	<p>WCF クライアントは FDCC 環境で IssuedToken クライアント資格情報と一緒に機能しない。</p> <p>IssuedToken クライアント資格情報は SHA1Managed 暗号を使用します。これは、暗号モジュールの米国連邦情報処理規格 (FIPS) に準拠していません。これにより、WCF クライアント コミュニケーション要求が Federal Desktop Core Configuration (FDCC) を使用するコンピュータで失敗します。</p>
590729	<p>ウィンドウ ペインタが開いた状態でプロジェクトが再配布される。</p> <p>WCF クライアント プロキシ プロジェクトを再配布する間、WPF ウィンドウを開いたままにすると、ウィンドウ ペインタの一番上にデザイナのリロードを要求するメッセージが表示されます。</p>

親トピック: [既知の問題](#)

---

2012年3月30日作成。このヘルプトピックに関するフィードバックは、日本コンピュータシステム株式会社 第3事業部に送信してください: [powerbuilder-info@ncsx.co.jp](mailto:powerbuilder-info@ncsx.co.jp)

## WCF サービスに関する既知の問題

PowerBuilder .NET の WCF サービスに関する既知の問題と回避策をお知らせします。

### WCF サービスの問題

CR#	説明
697983	リモート サーバが <b>Windows 7</b> を実行している場合はリモート配布に失敗する。 エラー メッセージは次のように表示されます: ファイル '...\pbxxxx.tmp.txt' が見つかりませんでした。
672164	親 <b>NVO</b> がパブリックではないメンバーを持つ場合、 <b>WCF</b> サービスが構築されない。 関数名がプロパティ名と同じ場合、「Csc: Error CS0103 n_parent (17,11): 名前 'pbp_p_protected_get' は現在のコンテキスト内に存在しません。」エラーが発生し、WCF サービスが構築されません。
667433	ベータ プロジェクトを開いた後、 <b>WCF</b> サービスの属性設定が失われる。 PowerBuilder .NET のベータ構築で作成した WCF サービス プロジェクトを開いた場合、すべての属性設定が失われます。属性を再設定する必要があります。
663912	<b>WCF</b> サービスは特定の関数の呼び出しに失敗する。 列挙型の中にある WCF サービスは、「基になる接続が閉じられました。」エラーを発生させます。

親トピック: [既知の問題](#)

---

2012年3月30日作成。このヘルプトピックに関するフィードバックは、日本コンピュータシステム株式会社 第3事業部に送信してください: [powerbuilder-info@ncsx.co.jp](mailto:powerbuilder-info@ncsx.co.jp)



## FlowDirection プロパティに関する既知の問題

PowerBuilder .NET の FlowDirection プロパティに関する既知の問題と回避策をお知らせします。

### FlowDirection プロパティの問題

CR#	説明
590684	<p>プレビュー ビューにアプリケーションで設定したフロー方向が表示されない。</p> <p>アプリケーション オブジェクトで右から左のフロー方向が設定されたアプリケーションでウィンドウをプレビューする場合（ただし、プレビューするウィンドウでは設定されていない）、プレビューされたウィンドウは右から左のフロー方向で表示されません。</p> <p>回避策: プレビューするウィンドウにもフロー方向を設定しなければなりません。</p>

親トピック: [既知の問題](#)

---

2012年3月30日作成。このヘルプトピックに関するフィードバックは、日本コンピュータシステム株式会社 第3事業部に送信してください: [powerbuilder-info@ncsx.co.jp](mailto:powerbuilder-info@ncsx.co.jp)

## 移行に関する既知の問題

PowerBuilder .NET への移行に関する既知の問題と回避策をお知らせします。

### 移行の問題

CR#	説明
634087	<p><b>OLE</b> コントロールを移行できるが、追加または編集できない。</p> <p>OLE コントロールを含む PowerBuilder Classic アプリケーションは、PowerBuilder .NET 内の WPF アプリケーションに移行できます。移行したアプリケーション内の OLE コントロールは追加または編集できません。XAML ビュー内でコントロールを編集すると、フル構築エラーが発生する場合があります（たとえば、XAML ビュー内での OLE コントロールのコピーと貼り付け）。</p>
621806	<p>移行後、<b>MDI</b> ウィンドウに空白領域が表示される。</p> <p>PowerBuilder Classic では、MDI または MDIHelp ウィンドウのツールバーはウィンドウのクライアント領域で他の空いているスペースを占有します。PowerBuilder .NET では、ツールバーに占有されるスペースはクライアント領域の一部ではないため、MDI ウィンドウを移行した場合、以前にツールバーで占有されていたスペースが空白になります。</p> <p>回避策: 移行後、MDI ウィンドウ内のコントロールを移動して、以前にツールバーで占有されていたクライアント領域をカバーするようにします。</p>

親トピック: [既知の問題](#)

---

2012年3月30日作成。このヘルプトピックに関するフィードバックは、日本コンピュータシステム株式会社 第3事業部に送信してください：[powerbuilder-info@ncsx.co.jp](mailto:powerbuilder-info@ncsx.co.jp)

## インストールに関する既知の問題

PowerBuilder セットアップ プログラムに関する既知の問題と回避策をお知らせします。

### インストールの問題

CR#	説明
672300, 674208	<p><b>PowerBuilder 12.5 をインストールすると PowerBuilder 12.1 のインストールに影響する。</b></p> <p>PowerBuilder 12.5 をインストールした後、以下の PowerBuilder 12.1 システム アセンブリは 12.1 ターゲット参照の中で拡張できなくなります。</p> <p>Sybase.PowerBuilder.WCF.dll</p> <p>Sybase.PowerBuilder.WPF.dll</p> <p>Sybase.PowerBuilder.WPF.Skins.dll</p> <p>この動作が原因で、既存の WPF ターゲット内でウィンドウとビジュアル ユーザ オブジェクトを開くことができません。この動作が、構築や実行時の問題を引き起こすことはありません。</p> <p>回避策: 以下のようにアセンブリを手動で復元します。</p> <ol style="list-style-type: none"><li>1. .NET ターゲットを開きます。</li><li>2. 参照リスト内にある PowerBuilder 12.1 システム アセンブリのいずれかを拡張できない場合は、以下を実行します。<ol style="list-style-type: none"><li>a. リストから項目を削除します。</li><li>b. PowerBuilder 12.1 のインストール (たとえば、C:\Program Files\Sybase\PowerBuilder 12.0\DotNET\bin) から、対応するアセンブリをリストに追加します。</li></ol></li><li>3. ターゲットを保存します。</li></ol>
607351	<p><b>SQL Anywhere のインストール中にエラー メッセージが表示される。</b></p> <p>PowerBuilder セットアップ プログラムでは、SQL Anywhere インストーラの最後の手順で次のメッセージが表示される場合があります。</p> <p>無効なライセンス情報です。再インストールが必要です。</p> <p>回避策: [OK] をクリックして、ダイアログ ボックスを閉じます。SQL Anywhere のインストールは正常に完了します。</p>

親トピック: [既知の問題](#)

2012 年 3 月 30 日作成。このヘルプ トピックに関するフィードバックは、日本コンピュータシステム株式会社 第3事業部に送信してください: [powerbuilder-info@ncsx.co.jp](mailto:powerbuilder-info@ncsx.co.jp)

## Web フォーム アプリケーションに関する既知の問題

Web フォーム アプリケーションに関する既知の問題と回避策をお知らせします。

### PowerBuilder Classic Web フォームの問題

CR#	説明
654894	<p><b>Windows 7 で PB 12.5 Web フォームを起動するときのエラー</b></p> <p>Windows 7 オペレーティングシステムで PowerBuilder 12.5 Web フォーム アプリケーションを起動すると、次の 404.2 エラーが表示されます。The page you are requesting cannot be served because of the ISAPI and CGI restriction list setting on the Web Server.</p> <p>回避策:</p> <ol style="list-style-type: none"><li>1. Windows 7 で IIS マネージャを開き、現行のサーバの下にある IIS コンポーネント、[ISAPI および CGI の制限] を見つけます。</li><li>2. このコンポーネントをダブルクリックし、[ASP.NET v4.0.30319] を右クリックし、[許可] を選択します。</li><li>3. IIS サーバと Web フォーム アプリケーションを再起動します。</li></ol>
624288	<p><b>標準ユーザが Web フォーム アプリケーションをデバッグできない。</b></p> <p>Windows Vista または Windows 7 に標準ユーザとしてログインすると、デバッグプロセスを ASP .NET ワーク プロセスにアタッチできないため、Web フォーム アプリケーションまたは .NET Web サービス コンポーネントをデバッグできません。アプリケーションまたはコンポーネントを標準ユーザとして配布しようとする、権限を昇格できるユーザ制御コントロール (UAC) ダイアログ ボックスが表示されますが、アプリケーションまたはコンポーネントをデバッグしようとした場合は表示されません。</p> <p>回避策: [管理者として実行] を選択して PowerBuilder Classic IDE を起動し、アプリケーションまたはコントロールをデバッグします。</p>

親トピック: [既知の問題](#)

2012 年 3 月 30 日作成。このヘルプトピックに関するフィードバックは、日本コンピュータシステム株式会社 第3事業部に送信してください: [powerbuilder-info@ncsx.co.jp](mailto:powerbuilder-info@ncsx.co.jp)

## 分割アセンブリに関する既知の問題

PowerBuilder .NET の分割アセンブリに関する既知の問題と回避策をお知らせします。

### 分割アセンブリの問題

CR#	説明
657114	<p>スクリプトに変更を加えた後、フル構築プロセスを実行すると、依存関係チェックが自動的に開始されない。</p> <p>潜在的な依存関係エラーが存在している場合、この動作が原因で構築エラーが発生する可能性があります。</p> <p>回避策: 変更が依存関係の結果に影響する可能性がある場合は、手動で依存関係チェックを実行します。</p>
647772	<p>グローバル外部関数に関して分割アセンブリの依存関係チェックでエラーが発生する。</p> <p>分割アセンブリを含むプロジェクトで依存関係チェックを実行すると、グローバル外部関数を呼び出す行で依存関係エラーが発生します。</p> <p>回避策: このエラーを避けるために、グローバル外部関数をローカル外部関数に置き換える形でリファクタリングします。</p>
644570	<p>PBL が、分割アセンブリになろうとするアプリケーション オブジェクトを含む場合は、実行ファイルが作成されない。</p> <p>重複した名前（アセンブリと実行ファイル）が存在する場合は、出力アセンブリが赤い枠で囲まれ、ツールチップが表示されます。また、保存するときに、その名前は無視されます。</p> <p>PBL が実行ファイルと同じ名前を持つ場合、DLL はデフォルトでフィルタの適用によって [出力アセンブリ] ドロップダウン リストから非表示にされます。</p>

親トピック: [既知の問題](#)

---

2012年3月30日作成。このヘルプトピックに関するフィードバックは、日本コンピュータシステム株式会社 第3事業部に送信してください: [powerbuilder-info@ncsx.co.jp](mailto:powerbuilder-info@ncsx.co.jp)

## その他の項目に関する既知の問題

PowerBuilder のその他の項目に関する既知の問題と回避策をお知らせします。

### PowerBuilder のその他の問題

CR#	説明
676276	画面解像度を変更すると実行時の外観に影響する。 画面解像度を変更すると、設計時と実行時の外観に違いが生じます。
675440	スクリプト ペインタで [Shift] + [F1] を押しても内容を直接開くことができない。 HTML ヘルプで、Windows ヘルプの動作を再現することはできません。Microsoft は Windows ヘルプを推奨しなくなりました。
674639	<b>Assembly Dependencies</b> ウィンドウ用のショートカット キーが変更された。 PB12.5 .NET IDE では、Assembly Dependencies ウィンドウを開くためのキーボード ショートカット (以前のバージョンでは [Ctrl] + [Alt] + [A] ) が変更されました。
674143	<b>3-D</b> プロパティが <b>Windows XP</b> 内のチェックボックス コントロールに影響を及ぼさない。 Windows XP のテーマでは、3-D プロパティがチェックボックス コントロールに影響を及ぼしません。このコントロールは常に 3-D として表示されます。
673442	.NET アセンブリ ケースをアンインストールすると、英語以外のインタフェースが表示される。 .NET アセンブリ ケースをアンインストールすると、(ドイツ語など) 英語以外のインタフェースが表示されます。
672005	継承したパブリック .NET プロパティが .NET アセンブリに対して公開されない。 .NET クラスから継承した NVO のパブリック プロパティは、.NET アセンブリの中で公開されません。
670814	.NET アセンブリの配列プロパティが、配布した DLL 内で問題を起こす。 配列プロパティは、配布した DLL の中で公開されません。また、"names" という名前を持つ、配列のインスタンス変数も公開されません。他のインスタンス変数は公開されます。
654850	一時的なクラス メンバーが、.NET アセンブリ ターゲット プロジェクトの [オブジェクト] タブ内に表示される。 クラス メンバーを作成し、そのメンバーを保存せずに、その後、プロジェクトを開くと、その新しいクラス メンバーが [オブジェクト] タブ内に列挙されます。
634891	リッチテキストの制限事項 PasteRTF を使用した後、InputFieldNamesVisible を切り替えることはできません。
626344	一貫性のない保存の動作。 Windows 7 では、オブジェクトの種類、および Windows ユーザーの種類により、オブジェクトを保存するときの PowerBuilder .NET の動作に一貫性がありません。たとえば、管理者がウィンドウ ペインタを保存した後、PowerBuilder はレイアウト ビューを消去しますが、通常ユーザーが [管理者として実行] を使用して IDE を起動した場合はレイアウト ビューが消去されません。
623684	標準ユーザ ログインでプロジェクトを作成するとエラーが発生する。 現在のユーザに TMP 環境変数に割り当てられたディレクトリへの書き込み権限がない場合、ユーザがターゲット ウィザードまたはプロジェクト ウィザードでプロジェクトを作成しようとすると、出力ウィンドウにエラー メッセージが表示されます。 回避策: TMP 変数に、現在のユーザが書き込み権限を持つディレクトリを設定してください。
617268	<b>GetLatestVersion</b> が、別のユーザによって <b>Perforce</b> に追加されたすべてのファイルを取得しない。

	<p>2人のユーザが同じソリューションを Perforce 2008 デポから追加し、最初のユーザがそのソリューション用の新しいオブジェクトをチェックインした場合、2番目のユーザは「<b>Get Latest User(Recursive)</b>」を選択して新しいオブジェクトを追加できます。ただし、新しいプロジェクトは、2番目のユーザの Solution Explorer に表示されても、そのユーザの PBL ディレクトリには追加されません。</p> <p>回避策: 2番目のユーザは、ソリューションを閉じてから再度開いて GetLatestUser アクションを完了し、すべての更新を入手しなければなりません。</p>
569483	<p>c: ドライブのルートパスで新しいターゲットが表示されない。</p> <p>PowerBuilder .NET で c: ドライブのルートパスにワークスペースを作成した場合、ルートパスにターゲットが作成されますが、そのターゲットは Solution Explorer 内に表示されません。</p>

親トピック: [既知の問題](#)

---

2012年3月30日作成。このヘルプトピックに関するフィードバックは、日本コンピュータシステム株式会社 第3事業部に送信してください: [powerbuilder-info@ncsx.co.jp](mailto:powerbuilder-info@ncsx.co.jp)

## 製品互換

PowerBuilder は、多数のソフトウェア製品を使用して互換性をテストしました。

### PowerBuilder でテストしたソフトウェア製品

ソフトウェアの種類または製品	互換性の説明
アプリケーションサーバ	PowerBuilder Classic は EAServer 6.3.1 を使用してテストしました。
SQL Anywhere	PowerBuilder 12.5.1 は、SQL Anywhere® 12.0.1 を使用してテストしました。
PowerDesigner	PowerBuilder 12.5.1 は、PowerDesigner® 15.3 ESD #9 を使用してテストしました。
Microsoft .NET Framework	PowerBuilder .NET と PowerBuilder Classic は、Microsoft .NET Framework 4.0 以降と互換性があります。
Web ブラウザ	PowerBuilder Web フォーム アプリケーションは、Internet Explorer 6 以降のブラウザで完全にサポートされます。
Java	PowerBuilder Classic は、JDK 1.5 および 1.6 と互換性があります。
Ghostscript	データウィンドウを PDF として保存する機能は、AFPL Ghostscript バージョン 8.60 を使用してテストしました。

---

2012年3月30日作成。このヘルプトピックに関するフィードバックは、日本コンピュータシステム株式会社 第3事業部に送信してください：[powerbuilder-info@ncsx.co.jp](mailto:powerbuilder-info@ncsx.co.jp)



## サードパーティ コンポーネントと配布

PowerBuilder アプリケーションは、PowerBuilder と一緒にインストールされるサードパーティ コンポーネントの一部依存します。

これらのコンポーネントの多くは、PowerBuilder ランタイム パッケージでインストールされません。これらのコンポーネントの一部をアプリケーションと一緒に再配布できますが、その他のコンポーネントはベンダから入手する必要があります。

無償でダウンロードできるコンポーネントについては、DVD の [support](#) ディレクトリおよび Sybase Web サイト [http://www.sybase.com/softwarelicenses/third\\_party\\_legal](http://www.sybase.com/softwarelicenses/third_party_legal) にある無償ダウンロード規約を参照してください。

### Apache ファイル

PowerBuilder に含まれる Apache ファイルをユーザに再配布できます。

### Microsoft ファイル

PowerBuilder の各種機能を使用するには、ランタイム コンピュータに特別な Microsoft ファイルが必要です。

### Oracle (Sun Microsystems) ファイル

EJB クライアントを使用する場合、JDBC 接続を行う場合、および XSL-FO を使用してオブジェクトやドキュメントを PDF 形式で保存する場合は、Java Runtime Environment (JRE) が必要です。

### Web サービスの SOAP クライアントで使用されるソフトウェア

PowerBuilder Classic アプリケーションは、Web サービスに接続するために EasySoap を使用できます。PowerBuilder には実行ファイル形式の EasySoap++ ライブラリ (EasySoap125.dll) が含まれており、このライブラリは PBSoapClient125.pbx に動的にリンクされます。

---

2012 年 3 月 30 日作成。このヘルプ トピックに関するフィードバックは、日本コンピュータシステム株式会社 第3事業部に送信してください：[powerbuilder-info@ncsx.co.jp](mailto:powerbuilder-info@ncsx.co.jp)

## Apache ファイル

PowerBuilder に含まれる Apache ファイルをユーザに再配布できます。

PowerBuilder 12.5 に含まれる Apache コードを使用したり再配布したりする場合は、PowerBuilder の無償ダウンロード規約にある Apache License 規約に従う必要があります。

ファイルを PDF として保存するためにアプリケーションで XSL-FO を使用するには、Apache Formatting Objects Processor (FOP) のバージョン 0.20.5 が必要です。Apache FOP Web サイト <http://xmlgraphics.apache.org/fop/> を参照してください。

Apache Xerces ファイル `xerces-c_2_6.dll` および `xercesdepdom_2_6.dll` は、XML Web データウィンドウ サポート、データウィンドウとデータストアの XML サポート、PBDOM、および Web サービスの SOAP クライアントに必要です。Xerces C++ Parser Web サイト <http://xml.apache.org/xerces-c/> を参照してください。

親トピック: [サードパーティ コンポーネントと配布](#)

---

2012年3月30日作成。このヘルプトピックに関するフィードバックは、日本コンピュータシステム株式会社 第3事業部に送信してください：[powerbuilder-info@ncsx.co.jp](mailto:powerbuilder-info@ncsx.co.jp)

## Microsoft ファイル

PowerBuilder の各種機能を使用するには、ランタイム コンピュータに特別な Microsoft ファイルが必要です。

### Visual C++ ランタイムと Active Template Library

コアな PowerBuilder ランタイム ファイルを配布する場合は、ユーザのコンピュータまたはサーバに、Microsoft Visual C++ ランタイム ライブラリ `msvcr71.dll` と `msvcp71.dll`、および Microsoft .NET Active Template Library (ATL) モジュール `at171.dll` が存在することを確認します。

PowerBuilder ランタイム ファイルは、実行時にこれらのファイルに依存するため、PowerBuilder ランタイムを必要とするすべてのアプリケーションとコンポーネントにこれらのファイルが必要です。これらのファイルは、DLL アーカイブ Web サイト <http://dlldump.com> または <http://driverskit.com/> で入手できます。

注意: PowerBuilder ランタイム パッケージで生成した MSI ファイルによりインストールされる一部のファイルは、これらのファイルに依存しています。たとえば、`at171.dll` は、`pbjvmversion.dll` ファイルをレジストリに登録する前にユーザのコンピュータにインストールしておく必要があります。ランタイム パッケージが生成した MSI ファイルを実行する前に、これらのファイルが対象のコンピュータにあることを確認してください。

### インクピクチャ ライブラリ

アプリケーションでインクエディット (InkEdit) コントロールおよびインクピクチャ (InkPicture) コントロールを使用する場合は、`Microsoft.Ink`、`Microsoft.Ink.dll`、および `Microsoft.Resources.dll` が必要です。これらのファイルは Microsoft Windows XP Tablet PC Edition の Software Development Kit 1.7 の一部です。この SDK は、Microsoft 社の Web サイト <http://www.microsoft.com/downloads/details.aspx?FamilyId=B46D4B83-A821-40BC-AA85-C9EE3D6E9699&displaylang=en> で入手できます。

これらの DLL と .NET Framework 2.0 との間に互換性の問題があることを Microsoft 社は確認しています。この問題に対処するための更新プログラムは、Microsoft 社の Web サイト <http://www.microsoft.com/downloads/details.aspx?familyid=84BBEFA4-7047-41DF-8583-E3BDBF9D805F&displaylang=en> で入手できます。

### DirectX 9.0c ランタイム

PowerBuilder アプリケーションは、3D グラフ (3D 円、3D 横棒、3D 縦棒、3D 折れ線、および 3D 面) をより洗練された外観で表示するために DirectX 3D 表示を使用できます。DirectX グラフ様式にデータ項目や系列の透明度設定を使用して、データの外観を改善できます。

DirectX 3D 表示は、DirectX 9.0c ランタイムに依存しています。3D グラフのプロパティ ビューにある [全般] タブで、[3D レンダリング] チェック ボックスを最初にオンにしたときに、PowerBuilder は DirectX インストーラを起動します。インストールを見送ると、3D レンダリング プロパティは無視されます。PowerBuilder アプリケーションのエンド ユーザは、DirectX グラフ様式を表示するために、コンピュータに DirectX 9.0c ランタイムもインストールしておく必要があります。DirectX 9.0c ランタイムは、Microsoft 社の Web サイト <http://www.microsoft.com/downloads/details.aspx?FamilyID=2da43d38-db71-4c1b-bc6a-9b6652cd92a3&DisplayLang=en> からダウンロードできます。

古いグラフィック ドライバがインストールされているコンピュータの場合、`dxdiag.exe` を実行することで DirectX がサポートされているかどうかを確認できます。このファイルは、通常、`Windows\System32` ディレクトリにインストールされています。`dxdiag.exe` を実行したときに開く DirectX 診断ツールの [ディスプレイ] タブに、Direct3D が有効かどうかを示されます。

親トピック: [サードパーティ コンポーネントと配布](#)

---

2012 年 3 月 30 日作成。このヘルプ トピックに関するフィードバックは、日本コンピュータシステム株式会社 第3事業部に送信してください: [powerbuilder-info@ncsx.co.jp](mailto:powerbuilder-info@ncsx.co.jp)

## Oracle (Sun Microsystems) ファイル

EJB クライアントを使用する場合、JDBC 接続を行う場合、および XSL-FO を使用してオブジェクトやドキュメントを PDF 形式で保存する場合は、Java Runtime Environment (JRE) が必要です。

JRE のサードパーティ条項については、無償ダウンロード規約に関するドキュメントを参照してください。JRE は、Sun Developer Network <http://java.sun.com/javase/downloads/index.jsp> からダウンロードできます。

親トピック: [サードパーティ コンポーネントと配布](#)

---

2012年3月30日作成。このヘルプトピックに関するフィードバックは、日本コンピュータシステム株式会社 第3事業部に送信してください: [powerbuilder-info@ncsx.co.jp](mailto:powerbuilder-info@ncsx.co.jp)

## Web サービスの SOAP クライアントで使用されるソフトウェア

PowerBuilder Classic アプリケーションは、Web サービスに接続するために EasySoap を使用できます。PowerBuilder には実行ファイル形式の EasySoap++ ライブラリ (EasySoap125.dll) が含まれており、このライブラリは PBSoapClient125.pbx に動的にリンクされます。

EasySoap++ ライブラリとその使用は、GNU Lesser General Public License (LGPL) の適用範囲です。このライセンスのコピーについては、無償ダウンロード規約に関するドキュメントを参照してください。

また、EasySoap++ ライブラリは、LGPL の規定に従ってサードパーティに配布することができます。

EasySoap++ ライブラリのコンピュータが読取可能なソースコードは、DVD の Support\WSExtn フォルダ内の EasySoap.zip ファイルにあります。さらに、PBSoapClient125.pbx のオブジェクトコードと Microsoft Visual C++ プロジェクトファイルは、同じディレクトリの soapclient.zip ファイルにあります。

これらのファイルは LGPL の規定に基づいて提供されているものであり、EasySoap++ ライブラリを変更したり、変更した EasySoap125.dll を生成するために再リンクしたりすることができます。また、PBSoapClient125.pbx と変更した EasySoap++ インポートライブラリを再リンクすることもできます。LGPL の規定によれば、EasySoap++ ライブラリで変更した定義を使用するために PBSoapClient125.pbx を再コンパイルできない場合もあります。

PBSoapClient125.pbx を構築するには、soapclient.zip ファイル内の Readme.txt ファイルにある手順に従います。

親トピック: [サードパーティ コンポーネントと配布](#)

---

2012年3月30日作成。このヘルプトピックに関するフィードバックは、日本コンピュータシステム株式会社 第3事業部に送信してください：[powerbuilder-info@ncsx.co.jp](mailto:powerbuilder-info@ncsx.co.jp)

## マニュアルの変更点

PowerBuilder 12.5 用のリリース済みマニュアルに対する修正および説明を参照してください。

### PowerBuilder のマニュアルに関する問題

CR#	説明
605201	データウィンドウ オブジェクトに関する動作の変更 新しい内容: PrintPage の動作: PowerBuilder Classic では、リターン コードが 1 に設定された場合、ページは印刷されません。PowerBuilder .NET では、リターン コードが 1 に設定された場合、ページは印刷されます。
624126	ToolBarAlignment ウィンドウ プロパティ 新しい内容: 『新機能ガイド』マニュアルは、ToolBarAlignment プロパティの未サポートの列挙型の値として、Floating! を記載していません。移行したアプリケーションにこの値が残されていた場合、ツールバーはウィンドウの一番上に配置されます。
624234	Application Server Plug-in 修正内容: 『アプリケーション テクニック』マニュアルと 『ユーザーズ ガイド』マニュアルには Application Server Plug-in に関する情報が記載されていますが、このプラグインのサポートは PowerBuilder 12.5 では終了しています。
635140	未サポートのプロパティ、イベント、および関数 更新後の内容: PowerBuilder 12.5 では、リッチテキスト エディットの DisplayOnly プロパティがサポートされています。
639448	未サポートのプロパティ、イベント、および関数 新しい内容: カスタム コントロールでは Border プロパティを使用できません。カスタム コントロールを含む複数のオブジェクトを選択した場合、Border プロパティをサポートするオブジェクトに対して Border プロパティを設定できます。このプロパティをサポートしないオブジェクトでは、この設定は無視されます。
668659	デバッガの変更 新しい内容: デバッグできるのはデバッグ バージョンのみです。リリース バージョンをデバッグすることはできません。デバッグ バージョンが存在しない場合は、デバッガは失敗します。この動作は、プロジェクト ペインタ内で設定した構築の種類に関係しません。
677259	Windows フォームと Web フォームでは、現在列挙されている DLL に加えて、msvcr100.dll と msvcp100.dll の 2 つの DLL が必要です。『PowerBuilder .NET 新機能ガイド』マニュアルおよび 『アプリケーションの .NET への配布』マニュアルでは、説明が更新されました。一方、『アプリケーション テクニック』マニュアルでは説明は更新されませんでした。  『アプリケーション テクニック』マニュアルで、msvcr71.dll および msvcp71.dll が列挙されているすべての場所で、必須 DLL に msvcr100.dll および msvcp100.dll を追加してください。
699475	『データベースとの接続』マニュアル > 「第 9 章:Microsoft SQL Server の使い方」 > 「SQL Server 2008 の機能」 > 「SQL Server 2008 の新しいデータ型のサポート」では、「精度の設定」の最初の段落を次のように読み替える必要があります。「PowerBuilder のデータベース ペインタのカラム ビューには、[Dec] というラベルの付いたカラムがあります。」

2012 年 3 月 30 日作成。このヘルプ トピックに関するフィードバックは、日本コンピュータシステム株式会社 第3事業部に送信してください: [powerbuilder-info@ncsx.co.jp](mailto:powerbuilder-info@ncsx.co.jp)

## 移行について

PowerBuilder アプリケーションは、どのバージョンの PowerBuilder からでも PowerBuilder Classic に直接移行できません。PowerBuilder .NET から PowerBuilder Classic にアプリケーションを移行することはできません。また、PowerBuilder Classic から古いバージョンの PowerBuilder に移行することもできません。

古いアプリケーションは、PowerBuilder .NET に移行する前に PowerBuilder Classic に移行する必要があります。

### PowerBuilder .NET への移行

PowerBuilder .NET の WPF ウィンドウ アプリケーション ウィザードには、標準の PowerBuilder Classic クライアント/サーバまたは Windows フォーム ターゲットを WPF ウィンドウ アプリケーション ターゲットに変換するためのオプションがあります。PowerBuilder .NET の .NET アセンブリ ウィザードには、PowerBuilder Classic .NET アセンブリ ターゲットを変換するオプションがあります。

### PowerBuilder Classic への移行

アプリケーションを以前のバージョンの PowerBuilder から PowerBuilder Classic 12.5 に移行できます。

---

2012年3月30日作成。このヘルプトピックに関するフィードバックは、日本コンピュータシステム株式会社 第3事業部に送信してください：[powerbuilder-info@ncsx.co.jp](mailto:powerbuilder-info@ncsx.co.jp)

## PowerBuilder .NET への移行

PowerBuilder .NET の WPF ウィンドウ アプリケーション ウィザードには、標準の PowerBuilder Classic クライアント/サーバまたは Windows フォーム ターゲットを WPF ウィンドウ アプリケーション ターゲットに変換するためのオプションがあります。PowerBuilder .NET の .NET アセンブリ ウィザードには、PowerBuilder Classic .NET アセンブリ ターゲットを変換するオプションがあります。

これらの変換オプションを選択し、[完了] をクリックすると、選択した PowerBuilder Classic ターゲットはウィザードによって自動的に移行されます。ただし、依然として、一部のアプリケーションは変換後に手動でリファクタリングする必要があります。

次の表は、アプリケーションを PowerBuilder Classic から移行した後に特別な注意が必要な機能を一覧にしたものです。表のトピックの参照先は、『PowerBuilder .NET 新機能ガイド』マニュアルです。

機能	移行の影響
アクセラレータ文字	アンパサンド (&) が下線 ( _ ) に変わります。「★Accelerator Characters in Control Labels★」を参照してください。
条件付き (プリプロセッサ) コードブロック	PowerBuilder .NET の無効なコード ブロックが維持されますが、無視されます。「★Conditional Compilation in PowerBuilder .NET Targets★」を参照してください。
コントロールハンドル	複数のウィンドウにネストされたコントロールに自身のハンドルがありません。「★Modified and Unsupported Features in PowerBuilder .NET★」を参照してください。
識別子のハイフン	ハイフンがターゲット ウィザードで選択できる文字列で置換されます。「★Coding Restrictions★」を参照してください。
イベント シーケンス	手動でリファクタリングが必要な場合があります。「★Modified and Unsupported Features in PowerBuilder .NET★」を参照してください。
グループボックスコントロール	グループボックス内のコントロールは、グループボックスのコンテナではなく、グループボックスに属します。「★Semantic Differences★」を参照してください。
大きなアプリケーションの移行	OutOfMemory エラーを引き起こすことがあります。3G スイッチをオンにして、このエラーを回避してください。「★Memory Tuning for Large Applications★」を参照してください。
メニューとツールバーのスタイル	PowerBuilder Classic のスタイルが維持されます。PowerBuilder 11.0 より前のアプリケーションから移行する場合、メニューとツールバーは従来のスタイルを使用します。「★Selecting a Toolbar Style★」および「★Menu Styles in PowerBuilder .NET★」を参照してください。
非 TrueType フォント	デザイン時には表示されますが、実行時に置換されます。「★Modified and Unsupported Features in PowerBuilder .NET★」を参照してください。
パイプライン オブジェクトとクエリオブジェクト	インポートされますが実行時には無視されます。「★Modified and Unsupported Features in PowerBuilder .NET★」を参照してください。
リソース ファイル	ウィザードで選択したリソース ディレクトリは、元のターゲットの相対パスに基づいて、新しいターゲットパスに相対的にコピーされます。「★Adding Resources to a Target★」および「★Project Painter User Interface★」を参照してください。
スキン	デフォルトのスキンは移行されたアプリケーションに属します。「★Skin Selection for Applications and Controls★」を参照してください。

WPF アプリケーションには、ID にハイフンが含まれるアプリケーションおよび右から左の形式のアプリケーションに関する移行オプションがあります。移行オプションを選択する前に [完了] をクリックすると、ウィザードはこれらのオプションのデフォルトの設定を使用してアプリケーションを移行します。

親トピック: [移行について](#)

2012 年 3 月 30 日作成。このヘルプ トピックに関するフィードバックは、日本コンピュータシステム株式会社 第3事業部に送信してください: [powerbuilder-info@ncsx.co.jp](mailto:powerbuilder-info@ncsx.co.jp)



## PowerBuilder Classic への移行

PowerBuilder のすべての旧バージョンから、アプリケーションを PowerBuilder Classic 12.5 に移行できます。

移行の前に、ファイルをバックアップし、マイグレーションアシスタントを使用して廃止されたコードを識別してください。現行バージョンの PowerBuilder を使用して構築するアプリケーションは、現行バージョンの PowerBuilder ランタイム DLL で配布する必要があります。

注意: Sybase Web サイト <http://www.sybase.com/detail?id=1032777> のテクニカル ドキュメント「PowerBuilder アプリケーションの移行」(英語)には、アプリケーションの変換に影響を与える可能性のある PowerBuilder のバージョン 6.5 から最新バージョンまでの PowerBuilder の変更情報が記載されています。

### 以前のバージョンの PowerBuilder からの .NET ターゲットの移行

古い Web フォーム アプリケーションおよび .NET Web サービス コンポーネントを移行する場合、開発コンピュータと配布コンピュータで、サポート ファイルの削除またはインストールが必要になることがあります。

### EAServer ターゲットの移行

EAServer ターゲットを、以前のバージョンの PowerBuilder から PowerBuilder Classic に移行する場合は、いくつかの事項を追加で考慮する必要があります。PowerBuilder .NET は、EAServer ターゲットをサポートしません。

### プロキシの変数名としてのシステム タイプ

バージョン 10.5 以降の PowerBuilder では、システム タイプは Web サービス プロキシの変数名として使用できません。

### Microsoft SQL Server での OLE DB のパフォーマンス

バージョン 10.5.2 以降の PowerBuilder では、Microsoft SQL Server データベースで OLE DB データベース インタフェースを使用してデータウィンドウにデータを取り出したり、SELECT 文で埋め込み SQL カーソルを使用したりすると、複数コマンドの実行をサポートするためにサーバ側のカーソルが使用されます。

### OpenTab の動作の変更

PowerBuilder 10.2.1 Build 9716、PowerBuilder 10.5.1 Build 6505、および PowerBuilder 11.0 Build 5021 で、Visible プロパティが false に設定されたタブに SelectedTab プロパティが実行時に適用されると変則的な動作をする現象を修正するための変更が行われました。

### ImportFile のサイズ制限

アプリケーションで ImportFile メソッドを使用して非常に大きなテキスト ファイルをデータウィンドウまたはデータストアにインポートすると、ImportFile はエラー コード -15 を返します。

親トピック: [移行について](#)

---

2012 年 3 月 30 日作成。このヘルプ トピックに関するフィードバックは、日本コンピュータシステム株式会社 第3事業部に送信してください: [powerbuilder-info@ncsx.co.jp](mailto:powerbuilder-info@ncsx.co.jp)

## 以前のバージョンの PowerBuilder からの .NET ターゲットの移行

古い Web フォーム アプリケーションおよび .NET Web サービス コンポーネントを移行する場合、開発コンピュータと配布コンピュータで、サポート ファイルの削除またはインストールが必要になることがあります。

.NET プロジェクトを以前のバージョンの PowerBuilder から配布した場合、移行した .NET プロジェクトを再配布する前に、以下の手順を確認または完了してください。

- .NET Web フォームおよび .NET Windows フォーム プロジェクトでは、PowerBuilder Classic からアプリケーションを最初に再配布する前に、プロジェクトの再構築タイプに「フル」を選択します。
- .NET Web フォームおよび .NET Web サービス ターゲットでは、開発コンピュータおよび運用サーバ上のアプリケーションまたはコンポーネントの ASP.NET 一時ファイルを消去します。  
この一時ファイルは、C:\WINDOWS\Microsoft.NET\Framework\version\Temporary ASP.NET Files\projectName ディレクトリにあります。ここで、version は通常 v2.0.50727、projectName はプロジェクトの Web アプリケーション名またはその Web サービス仮想ディレクトリ名です。
- すべての .NET ターゲットで、以前のバージョンの PowerBuilder ランタイム ファイル（システム アセンブリや win32 DLL）をすべての配布コンピュータまたはサーバからアンインストールした後、ランタイム パッケージやその他のツールを使用して、『アプリケーションとコンポーネントの .NET への配布』マニュアルの「配布のためのチェックリスト」節の説明に従って PowerBuilder の現行バージョンのランタイム ファイルをインストールします。
- PowerBuilder 12.0 または 12.1 のソリューションを移行するには、[ファイル] メニューを使用してそのソリューションの .PBWX ファイルを開きます。そのファイルをダブルクリックするか、PowerBuilder .NET 12.5 にドラッグアンドドロップした場合、Visual Studio の変換ウィザードが開きますが、これは適切な動作ではありません。PowerBuilder 12.5 のソリューションは、ダブルクリップおよびドラッグアンドドロップの方法を使用して開くことができます。

注意: .NET Windows フォーム ターゲットを PowerBuilder .NET の WPF ターゲットに変換できます。古い .NET Windows フォーム ターゲットは、WPF ターゲットに変換する前に、PowerBuilder Classic に移行することをお勧めします。

PowerBuilder Classic の .NET アセンブリ ターゲットは、PowerBuilder .NET の .NET アセンブリ ターゲットに直接変換できません。

親トピック: [PowerBuilder Classic への移行](#)

---

2012 年 3 月 30 日作成。このヘルプ トピックに関するフィードバックは、日本コンピュータシステム株式会社 第3事業部に送信してください: [powerbuilder-info@ncsx.co.jp](mailto:powerbuilder-info@ncsx.co.jp)

## EAServer ターゲットの移行

EAServer ターゲットを、以前のバージョンの PowerBuilder から PowerBuilder Classic に移行する場合は、いくつかの事項を追加で考慮する必要があります。PowerBuilder .NET は、EAServer ターゲットをサポートしません。

### EAServer 6.0.1 以降へのコンポーネントの移行

EAServer 6.0.1 で実行している PowerBuilder コンポーネントからのコンポーネント間呼び出しには、呼び出されたすべてのコンポーネントでプロキシが必要です。以前のバージョンの EAServer では、PowerBuilder VM がコンポーネントのメソッドの名前と一致するメソッド名を使用して動的にコンポーネントのプロキシを作成するので、PowerBuilder コンポーネントが同じサーバで実行している別の PowerBuilder コンポーネントをプロキシを使用せずに呼び出せました。

EAServer 6.0.1 以降では、PowerBuilder コンポーネントは EJB としてラップされ、セキュリティの特別な層が提供されるため、PowerBuilder VM がコンポーネントのメソッド名と一致する名前を持つプロキシを動的に生成しないようになりました。このため、コンポーネント間の呼び出しで起動されるすべてのコンポーネントに対してプロキシオブジェクトを作成する必要があります。プロキシオブジェクトがないと、TransactionServer オブジェクトは、呼び出そうとしているコンポーネントの正しいメソッド名を取得することができません。

### .NET ターゲットから EAServer コンポーネントへのアクセス

PowerBuilder は、開発コンピュータのグローバルアセンブリキャッシュ (GAC: Global Assembly Cache) に EAServer の DLL、com.sybase.iiop.net.dll と com.sybase.ejb.net.dll をインストールします。これらの DLL は、.NET ターゲットから EAServer コンポーネントにアクセスするアプリケーションのランタイムコンピュータに必要です。これらの DLL を配布コンピュータの GAC に配置するためにランタイムパッケージを使用できます。

**注意:** PowerBuilder セットアッププログラムによってインストールされる DLL はテスト済みで、EAServer 6.3.1 と互換性があります。ただし、バージョン 6.3.1 以外の EAServer を使用している場合は、アプリケーションを配布するすべてのコンピュータの GAC に EAServer/Lib ディレクトリから DLL をコピーすることをお勧めします。その後でランタイムパッケージを実行または再実行した場合は、ランタイムパッケージが DLL を上書きするので、これらの DLL を GAC に再度コピーする必要があります。

#### EAServer 6.x コンポーネントの EJB クライアント プロキシの作成

EAServer 6.x で実行している EJB の EJB クライアントアプリケーションを構築する場合、EJB クライアント プロキシの作成時に追加の手順を実行する必要があります。

#### EAServer 6.x EJB コンポーネントのクライアントアプリケーションの作成

EAServer 6.x で実行している EJB の EJB クライアントアプリケーションを構築する場合、クライアントの作成時に追加の手順を実行する必要があります。

親トピック: [PowerBuilder Classic への移行](#)

---

2012年3月30日作成。このヘルプトピックに関するフィードバックは、日本コンピュータシステム株式会社 第3事業部に送信してください: [powerbuilder-info@ncsx.co.jp](mailto:powerbuilder-info@ncsx.co.jp)

## EAServer 6.x コンポーネントの EJB クライアント プロキシの作成

EAServer 6.x で実行している EJB の EJB クライアント アプリケーションを構築する場合、EJB クライアント プロキシの作成時に追加の手順を実行する必要があります。

1. *packagename* ディレクトリをサーバ上の %DJC\_HOME%\deploy\ejbjars\ ディレクトリからクライアント コンピュータにコピーします。ここで、*packagename* は、使用する EJB を含むパッケージです。
2. EJB クライアント プロキシ プロジェクト ペインタから EJB コンポーネントの選択 ダイアログ ボックスを開き、コピーしたディレクトリをクラスパスに追加します。
3. プロキシを生成します。

親トピック: [EAServer ターゲットの移行](#)

---

2012年3月30日作成。このヘルプトピックに関するフィードバックは、日本コンピュータシステム株式会社 第3事業部に送信してください: [powerbuilder-info@ncsx.co.jp](mailto:powerbuilder-info@ncsx.co.jp)

## EAServer 6.x EJB コンポーネントのクライアント アプリケーションの作成

EAServer 6.x で実行している EJB の EJB クライアント アプリケーションを構築する場合、クライアントの作成時に追加の手順を実行する必要があります。

1. `eas-server-15.jar` ファイル (JDK 1.6.x を使用している場合は `eas-server-16.jar`) を `%DJC_HOME%\lib` ディレクトリからクライアント コンピュータにコピーし、その完全なパスをクライアントの CLASSPATH に含めます。
2. スタブ ファイルを `%DJC_HOME%\genfiles\java\classes\` ディレクトリからクライアント コンピュータにコピーし、このパスをクライアントの CLASSPATH に含めます。
3. `packagename` ディレクトリをサーバ上の `%DJC_HOME%\deploy\ejbjars\` ディレクトリからクライアント コンピュータにコピーします。ここで、`packagename` は、使用する EJB を含むパッケージです。そして、このパスをクライアントの CLASSPATH に含めます。

これらのファイルおよびディレクトリを `EAServer6` というクライアント上のディレクトリにコピーし、`datamapping` という名前のパッケージ内の EJB を使用する場合、クライアントの CLASSPATH 設定は次のようになります。

```
Classpath=D:\EAServer6\lib\eas-server-15.jar;D:\EAServer6\genfiles\java\classes;D:\EAServer6\deploy\ejbjars\datamapping
```

親トピック: [EAServer ターゲットの移行](#)

---

2012年3月30日作成。このヘルプトピックに関するフィードバックは、日本コンピュータシステム株式会社 第3事業部に送信してください: [powerbuilder-info@ncsx.co.jp](mailto:powerbuilder-info@ncsx.co.jp)

## プロキシの変数名としてのシステム タイプ

バージョン 10.5 以降の PowerBuilder では、システム タイプは Web サービス プロキシの変数名として使用できません。

PowerBuilder システム タイプが変数名として使用される場合、Web サービス プロキシ ウィザードは接頭辞 `ws_` を適用して変数の名前を変更します。Web サービス アプリケーションを PowerBuilder 10.2 以前のバージョンから移行し、PowerBuilder 10.5 以降で Web サービス プロキシを再生成する場合、変数名の変更を反映するようにコードを変更する必要があります。

PowerBuilder システム タイプには、PowerBuilder オブジェクト ブラウザの [システム] タブ ページの一覧にあるオブジェクトとコントロールだけでなく、そのブラウザの [カタログ データ型] タブ ページの一覧にある、区域、ボタン、エンコーディング、場所、および曜日などのカタログ データ型も含まれます。たとえば、PowerBuilder カスタム クラス ユーザ オブジェクトから Web サービスを構築し、その関数のいずれかに `location` という名前の文字列引数がある場合、その Web サービスのために生成されたプロキシで、その引数は `ws_location` に変更されます。

親トピック: [PowerBuilder Classic への移行](#)

---

2012 年 3 月 30 日作成。このヘルプ トピックに関するフィードバックは、日本コンピュータシステム株式会社 第3事業部に送信してください：[powerbuilder-info@ncsx.co.jp](mailto:powerbuilder-info@ncsx.co.jp)

## Microsoft SQL Server での OLE DB のパフォーマンス

バージョン 10.5.2 以降の PowerBuilder では、Microsoft SQL Server データベースで OLE DB データベース インタフェースを使用してデータウィンドウにデータを取り出したり、**SELECT** 文で埋め込み SQL カーソルを使用したりすると、複数コマンドの実行をサポートするためにサーバ側のカーソルが使用されます。

これによりパフォーマンスが低下する場合は、データベース パラメータ Block のサイズを 500 以上に増やすか、PBODB 初期設定ファイルの [Microsoft SQL Server] セクションに次の行を追加してサーバ側のカーソルをオフにします。

```
ServerCursor = 'NO'
```

親トピック: [PowerBuilder Classic への移行](#)

---

2012年3月30日作成。このヘルプトピックに関するフィードバックは、日本コンピュータシステム株式会社 第3事業部に送信してください：[powerbuilder-info@ncsx.co.jp](mailto:powerbuilder-info@ncsx.co.jp)

## OpenTab の動作の変更

PowerBuilder 10.2.1 Build 9716、PowerBuilder 10.5.1 Build 6505、および PowerBuilder 11.0 Build 5021 で、Visible プロパティが false に設定されているタブに SelectedTab プロパティが実行時に適用されると変則的な動作をする現象を修正するための変更が行われました。

この変更の結果、**OpenTab** 関数と **OpenTabWithParm** 関数の動作が変更されました。以前のバージョンでは、ユーザオブジェクトをタブページとして開くために **OpenTab** 関数または **OpenTabWithParm** 関数を呼び出すと、ユーザオブジェクトの Visible プロパティが false に設定されていてもタブページが表示されました。現在のバージョンでは、タブページを表示するにはユーザオブジェクトの Visible プロパティを true に設定しなければなりません。

親トピック: [PowerBuilder Classic への移行](#)

---

2012年3月30日作成。このヘルプトピックに関するフィードバックは、日本コンピュータシステム株式会社 第3事業部に送信してください：[powerbuilder-info@ncsx.co.jp](mailto:powerbuilder-info@ncsx.co.jp)



## ImportFile のサイズ制限

アプリケーションで **ImportFile** メソッドを使用して非常に大きなテキスト ファイルをデータウィンドウまたはデータストアにインポートすると、**ImportFile** はエラー コード -15 を返します。

バージョン 10.0 以降の PowerBuilder では Unicode を利用できます。以前の ANSI バージョンの PowerBuilder は大きなテキスト ファイルをインポートできませんでした。

注意: 以前のバージョンのリリース ノートには、大きなファイルのサイズ制限が約 839,000 行と記載されていましたが、サイズ制限はファイル内のカラム数、および行数に依存します。

親トピック: [PowerBuilder Classic への移行](#)

---

2012 年 3 月 30 日作成。このヘルプトピックに関するフィードバックは、日本コンピュータシステム株式会社 第3事業部に送信してください: [powerbuilder-info@ncsx.co.jp](mailto:powerbuilder-info@ncsx.co.jp)

## ヘルプおよびその他の情報の入手

この製品リリースの詳細については、製品 DVD、製品マニュアル Web サイト、およびオンライン ヘルプを参照してください。

- 製品 DVD（またはダウンロード） - PDF 形式の製品マニュアルが含まれます。
- 日本コンピュータシステム Web サイト <http://www.powerbuilder.jp/> - 標準の Web ブラウザでアクセスすることができるオンライン版のマニュアルがあります。このサイトでは、PDF 形式でマニュアルを見ることができます。Sybase 製品マニュアル Web サイト（英語） <http://sybooks.sybase.com/> には、Sybase の製品マニュアルのほか、EBF/メンテナンス、技術文書などへのリンクも含んでいます。
- 製品のオンライン ヘルプ（使用可能な場合）

PDF ドキュメントを読んだり、印刷したりするには、Adobe Acrobat Reader が必要です。Adobe Acrobat Reader は、[Adobe Web サイト](#)から無償でダウンロードすることができます。

注意: 製品リリース後に追加された重大な製品情報またはドキュメント情報を含む最新のリリース ノートを日本コンピュータシステム Web サイトで入手できる場合があります。

### テクニカル サポート

『サポートハンドブック』を参照してください。

### MySybase プロファイルの作成

MySybase は、Sybase Web ページを自分用にカスタマイズできる無料のサービスです。

---

2012 年 3 月 30 日作成。このヘルプ トピックに関するフィードバックは、日本コンピュータシステム株式会社 第3事業部に送信してください：[powerbuilder-info@ncsx.co.jp](mailto:powerbuilder-info@ncsx.co.jp)

## テクニカル サポート

『サポートハンドブック』を参照してください。

親トピック: [ヘルプおよびその他の情報の入手](#)

---

2012年3月30日作成。このヘルプトピックに関するフィードバックは、日本コンピュータシステム株式会社 第3事業部に送信してください：[powerbuilder-info@ncsx.co.jp](mailto:powerbuilder-info@ncsx.co.jp)

## MySybase プロファイルの作成

MySybase は、Sybase Web ページを自分用にカスタマイズできる無料のサービスです。

1. <http://www.sybase.com/mysybase> にアクセスします。
2. [Register Now] をクリックします。

親トピック: [ヘルプおよびその他の情報の入手](#)

---

2012年3月30日作成。このヘルプトピックに関するフィードバックは、日本コンピュータシステム株式会社 第3事業部に送信してください：[powerbuilder-info@ncsx.co.jp](mailto:powerbuilder-info@ncsx.co.jp)